



2024年 9月12日
日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所の近況について（2024年9月）

1. 発電所の状況について（2024年9月12日現在）

東海第二発電所 沸騰水型 (電気出力 110万kW)	・2011年5月21日から第25回定期検査（法令改正に伴い、定期事業者検査に名称変更）を実施中。 (燃料装荷時期及び定期事業者検査終了日は未定)
東海発電所 炭酸ガス冷却型 (廃止措置中)	・熱交換器本体等の原子炉領域以外の解体撤去工事を実施中。

2. 東海第二発電所 新規制基準への対応について

(1) 安全性向上対策工事について

安全性向上対策工事を安全第一で進めています。

各安全対策施設の設置に向けた工事状況について、主なものを添付資料（東海第二発電所 安全性向上対策工事の実施状況）に掲載しています。

項目	状況（添付資料参照箇所）
I. 津波から電源やポンプを守る設備 ・防潮堤等を設置する工事 ・安全上重要な設備を高台や地下に設置する工事	・実施状況
II. 電源を多様化する設備 ・高圧電源装置を設置する工事	
III. 原子炉を冷やすための設備 ・低圧、高圧注水ポンプ等を設置する工事 ・新たな水源を設置する工事	
IV. 発生した熱を海へ放熱する設備 ・緊急用海水系等を設置する工事	
V. 格納容器を冷却する設備 ・代替循環冷却系を設置する工事	
VI. 環境を守る設備 ・水素を取り除くための設備を設置する工事	
VII. 自然災害に備える設備 ・耐震補強工事 ・防火帯を設置する等の工事 ・竜巻対策のための工事	
(その他の工事等) ・排泥・残土置場造成工事	

添付資料：東海第二発電所 安全性向上対策工事の実施状況

(2) 鋼製防護壁工事において確認された不具合事象について

東海第二発電所の防潮堤工事のうち、鋼製防護壁基礎工事において、地中連続壁部の壁面の一部に確認された不具合事象（コンクリートの未充填及び鉄筋の変形）については、北基礎中実部の底部まで掘削を行い、現在は、南基礎を含め当該箇所の維持管理に努めています。

8月29日の審査会合では、不確かさが残る地中連続壁を基礎（上部の鋼製防護壁を支持する構造）として使用しない設計に変更するとした当社の方針を説明しました。

今後は、残置する地中連続壁部が防潮堤基礎に及ぼす影響を様々な角度から保守的な評価を行うとともに、地盤改良、新規基礎追加等により、周辺施設に与える影響を網羅的に検討して、実現性のある工事計画を綿密に立案してまいります。

3. 東海発電所 低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請の対応について 原子力規制委員会による審査会合が9月9日に開催され、7月24日に提出した補正書の概要について説明を行いました。

4. プレス及びホームページ掲載実績について（8月9日～9月12日）

(1) 法律に基づく報告に該当する重要な事象（0件）

(2) その他の情報

①プレス発表（1件）

- ・ 8月23日 東海第二発電所の原子炉設置変更許可に係る工事計画変更の届出について

②お知らせプレス（1件）

- ・ 9月12日 東海・東海第二発電所の近況について（2024年9月）

③ホームページ掲載（発電所からのお知らせ）（0件）

④取材案内（0件）

5. その他発電所におけるトピックス

発電所で発生したその他トピックスについて、以下のとおりお知らせします。

①安全性向上対策工事に係る事業者検査の是正について

7月9日、原子力規制庁による使用前検査において、東海第二発電所の安全性向上対策工事に伴い当社が行った土木構造物のコンクリート材料検査の記録に不整合があるとの気づきを受けたことから、当社にて当該記録及び類似事象の有無を詳細に調査したところ、当該記録の取り違え及び他にも類似の事象があることを確認しました。また、調査において、コンクリートの品質が確保されていることを確認しました。

今後、書類を整え、再度原子力規制庁による使用前検査を受ける予定です。

なお、当該構造物以外の設備のコンクリートは、同一設備に多くの記録を保管する必要がなく、他設備においては、同様の事象が発生しないと考えております。

②東海第二発電所非常用ディーゼル発電機2D室内及び電気室内（非管理区域）における水溜まりの確認について

8月30日、東海第二発電所非常用ディーゼル発電機2D室等（非管理区域）の床面において水溜まりを確認しました。この水溜まりは、安全性向上対策工事に伴い未使用となった建屋内外を貫通する配管（止水処置済み）の隙間から風雨により雨水が浸入したものでした。浸入した雨水の排水処理は完了しており、雨水の浸入による機器への影響はありません。現在は、屋外にて仮の止水・排水対策を実施するとともに、類似箇所がないことを確認しています。今後、当該箇所について必要な対策を実施してまいります。

なお、東海第二発電所においては、重要設備の機能を確保するための建屋内への流入防止対策として、既に水密扉への取替等も完了していますが、防潮堤等の設置により、さらなる安全性を確保してまいります。

6. 東海第二発電所 地域の皆さまとの対話形式による状況説明会の開催について

発電所周辺にお住まいの皆さまを対象とした、東海第二発電所の対話形式による状況説明会（定員制・事前申込制）を以下のとおり開催いたします。説明会では、東海第二発電所の安全性向上対策及び工事状況などについて、バーチャル・リアリティ（VR）用に作成した動画でご説明するとともに、参加いただいた皆さまとの対話形式による質疑応答を行います。

開催日及び開催場所については、以下のとおり予定しています。

当社ホームページまたは新聞折込みによるチラシ等にて申し込み方法等をご案内しております。参加をご希望される方はご確認のうえ、お申込みください。

<開催日及び開催場所>

開催日	開催市村	開催場所
9月22日(日)	東海村	日本原子力発電(株) 東海原子力館
9月23日(月・祝)	水戸市	水戸市民会館
9月24日(火)	日立市	日立シビックセンター
9月25日(水)	那珂市	那珂市中央公民館
9月29日(日)	常陸太田市	太田公民館
10月3日(木)	ひたちなか市	ワークプラザ勝田

7. イベント情報等について

(1) 一般見学会について

東海第二発電所周辺にお住まいの皆さまを対象とした、応募制による一般見学会を開催しています。

東海第二発電所で実施している、防潮堤の建設工事や高圧電源装置置場の設置工事等の安全性向上対策工事を中心に、発電所構内をバス車内からご見学いただけます。

参加をご希望される方は、当社ホームページをご確認のうえ、お申込みください。

<開催日程>

開催日	開催時間	お住まいの地域	申込締切
10月 6日(日)		東海村 日立市 常陸太田市 那珂市 ひたちなか市 水戸市 高萩市 常陸大宮市 大子町 城里町 笠間市 大洗町 茨城町 鉾田市 小美玉市	受付終了
10月22日(火)			9月20日(金)
11月 3日(日)	13:00～15:30		10月 4日(金)
11月20日(水)			10月18日(金)
12月 1日(日)			11月 1日(金)
12月19日(木)			11月15日(金)

※定員は各回20名。定員を超えた場合は抽選となります。

(2) 東海原子力館別館からのご案内

東海原子力館別館 ふれあい広場におけるギャラリー展示
地域の皆さまの作品を展示しています。

【開催中】

○つるし飾り展 古民家の秋

期間：9月1日（日）～11月30日（土）

内容：懐かしさを感じさせる秋飾りです。古布で作った可愛らしい人形たちが皆さ
まをお迎えしております。

濱島 美智子様、川上 恵子様、佐藤 和枝様、仲田 京子様、小林 集江様によ
る作品展です。

以上

項目	現場で実施している作業※	状況参照シート
I. 津波から電源やポンプを守る設備 ・防潮堤等を設置する工事 ・安全上重要な設備を高台等に設置する工事	○鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁(防潮堤) ○鉄筋コンクリート防潮壁築造(防潮堤(東側)) ○鉄筋コンクリート防潮壁躯体工(防潮堤(北側)) ○躯体工(緊急時対策所建屋、可搬型設備保管場所)	・実施状況[更新] ・[継続] ・[継続] ・[継続]
II. 電源を多様化する設備 ・高圧電源装置を設置する工事	○躯体工(常設代替高圧電源装置置場)	・[継続]
III. 原子炉を冷やすための設備 ・低圧、高圧注水ポンプ等を設置する工事 ・新たな水源を設置する工事	○設備設置準備工事(低圧注水ポンプ・配管等)	・[継続]
IV. 発生した熱を海へ放熱する設備 ・緊急用海水系等を設置する工事	○設備設置準備工事(緊急用海水ポンプ)	・[継続]
V. 格納容器を冷却する設備 ・代替循環冷却系を設置する工事		
VI. 環境を守る設備 ・水素を取り除くための設備を設置する工事	○工事用仮設設備設置	・[継続]
VII. 自然災害に備える設備 ・耐震補強工事 ・防火帯を設置する等の工事 ・竜巻対策のための工事	○上部構造補強(主排気筒耐震補強) ○耐震性向上(屋内開閉所) ○耐震補強(燃料取替機) ○タワークレーン等設置 ○竜巻対策(既設海水ポンプ室)	・[継続] ・[継続] ・[継続] ・[継続] ・[継続]
(その他の工事等) ・排泥・残土置場造成工事	○排泥・残土置場造成	・[継続]

※:作業が終了したもの(今後検査を受けるものを含む)は除きます

更新:工事状況を更新している工事
継続:先月から作業継続している工事

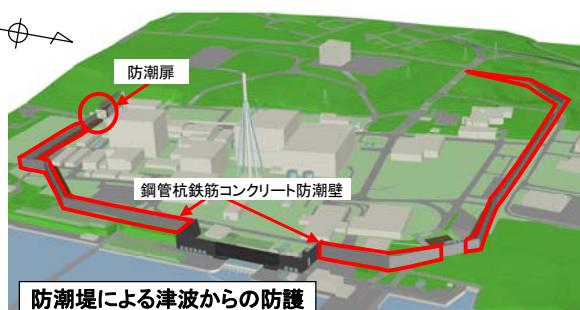
1

安全性向上対策工事の実施状況



○鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁(防潮堤)

発電所の敷地を津波から防護するため、鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁で構成される防潮堤を設置



【現在の工事状況】

- ・外部アクセスのための防潮扉を設置
- ・上部鋼管杭の設置、鉄筋コンクリートの施工を継続して実施中
- ・津波による洗堀※等への対策のため、防潮壁の外側においてセメント改良土による造成工事を実施中
- ・津波からの波力を防潮壁とともに受け止めるため、発電所側においてセメント改良土による地盤高さのかさ上げ工事を実施中

※水の流れや波などにより地面が削られること。



2